

Step 2 「学んだことを生かしている姿」の設定

「学んだことを生かしている姿」を具体的に考えていきます。

児童生徒が、単元(題材)で学んだことをどのように生かしていくのか、「どこで(場)」「誰と(人)」「何を使って(もの)」「何をするのか」を考えます。「場・人・ものマトリックス」を参考にすることができます。「何をするのか」は、各教科の目標及び内容に基づき記入します。必ずしも、【場・人・もの】を全て記入する必要はありません。

「例：目的に応じた店で(場) 支援者と(人) エコバックを(もの) 持って買物をする。」



目的に応じた店で(場)



日常に関する
支援者と(人)



エコバックを(もの)
持参して

各教科の目標
及び内容
(職業・家庭)



買物をする

Step 2 「学んだことを生かしている姿」の設定

【学んだことを生かしている姿】を具体的に考え記入しましょう。一緒に【場・人・もの】も考えます。その際、「場・人・ものマトリックス」が参考になります。

児童生徒の教育センター 発達障害教育研究グループ
学習活動(指導内容・方法)設定シート

【指導の目的】	【学習-学習-学習】	【時間】
氏名	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
姓		
名		
姓		
名		
【主な学習活動】	【指導体制】	【時間】

氏名	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
A 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた店で、家族(支援者)と買物する。 商品やお釣の受け渡しができる。 店員と簡単なやり取りをする。 エコバックを持参して買物をする。 	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご, レシート,エコバック